

ファミリーパーク 傷んだ木道を補修

きんたろう倶楽部

富山 里山再生に取り組む富山市のNPO法人「きんたろう倶楽部」（齋藤定信理事長）は3日、同市古沢の市ファミリーパークで木



道を補修した。写真。2013年から同パークと

1回、柱の取り換えを中心作業する。

協力し、木々に囲まれた「とんぼの沢」にある「さどやまの木道」を整備している。毎年少しずつ延びてきたが、今年に取付けた木材が傷んできており、今年11月に柱の取り換えを中心作業する。中野康英副理事長は「誰でも散策できるような、危険のない道にしたい」と話した。

北日本新聞 平成30年6月4日(月)

ファミリーパークで きんたろう倶楽部 木道基礎を修繕



木道の修繕に励む参加者
—富山市ファミリーパーク

呉羽丘陵の環境保全などに取り組むきんたろう倶楽部（富山市）は3日、同市ファミリーパーク内の「さどやまの木道」の基礎部分の修繕を行った。これまでも随時、修繕していたが、今後は月1回の頻度で実施し、安全性を高める。木道のある「とんぼの沢」は幅の狭い林道が多いエリア。ベビーカーや車いすでも散策できるよう、2013年9月から傾斜が緩やかで広く、障害の少ない木道の整備を始めた。

ただ、環境負荷を考えて材木に防腐剤を使わなかったため、腐食が進行。路面などは交換していたが、作業が難しい基礎部分は後回しとなっていた。この日は、森の中に車いすが通れる道をつくる運動を進め、木道の整備にも初期から携わってきたI・B・O・J・a・p・a・n（滋賀県）の八代正理事長が講師となり、きんたろう倶楽部のメンバー約20人は工具を使って橋桁を持ち上げ、橋を支える柱を取り換えた。

富山新聞 平成30年6月4日(月)